

鳥羽商船高等専門学校	開講年度	平成27年度(2015年度)	授業科目	計測制御工学 I
科目基礎情報				
科目番号	0009	科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	商船学科	対象学年	3	
開設期	通年	週時間数	前期:2 後期:2	
教科書/教材	計測工学 松代正三他著 産業図書、自動制御 水上憲夫著 朝倉書店			
担当教員	小川 伸夫			
到達目標				
1. 計測については、データ整理法、各計測の原理を学ぶ。 2. 自動制御については、伝達関数、極の意味を理解し制御器を設計できる。				
ループリック				
評価項目1	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目2	計測については、データ整理法、各計測の原理を理解し、応用できる。	1. 計測については、データ整理法、各計測の原理を理解できる。	計測については、データ整理法、各計測の原理を理解できない。	
評価項目3	2. 自動制御については、伝達関数、極の意味を理解し制御器を設計でき、応用できる。	自動制御については、伝達関数、極の意味を理解し制御器を設計できる。	自動制御については、伝達関数、極の意味を理解し制御器を設計できない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	この教科は、計測と制御という2つの異なる分野を学ぶ。計測の目的は、データ処理の方法と、各物理量の測定原理、測定法を学ぶ。制御では、PIDフィードバック制御器を理解できることを目的として、伝達関数、極などの概念を学ぶ。この授業を受けることで、各物理量の計測法とデータ処理、制御器の設計法が理解できるようになる。			
授業の進め方・方法	・ この科目は、前期が計測、後期が制御と異なる2つのテーマを扱う。			
注意点				
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週 単位について	S I 単位を理解している	
		2週 単位について	S I 単位を理解している	
		3週 計測の誤差	誤差の種類と性質を理解している	
		4週 測定値整理法	統計の基礎的な事項を理解している	
		5週 測定値整理法	統計の基礎的な事項を理解している	
		6週 測定値整理法	統計の基礎的な事項を理解している	
		7週 測定値整理法	統計の基礎的な事項を理解している	
		8週 前期中間試験		
後期	2ndQ	9週 試験の解答と解説 長さの計測	長さについて計測法が理解できる	
		10週 角度の計測	角度について計測法が理解できる	
		11週 時間の計測	時間について計測法が理解できる	
		12週 速度・回転数の計測	速度・回転数について計測法が理解できる	
		13週 力・動力の計測	力・動力について計測法が理解できる	
		14週 温度の計測	時間について計測法が理解できる	
		15週 前期期末試験		
		16週 試験の解答と解説 自動制御の目的	自動制御技術の意味が理解できる	
後期	3rdQ	1週 ブロック線図について	ブロック線図で表す意味を理解できる	
		2週 ブロック線図について	複雑なブロック線図をまとめることができる	
		3週 ブロック線図について	複雑なブロック線図をまとめることができる	
		4週 伝達関数について	伝達関数の定義を理解している	
		5週 伝達関数について	入出力関係を微分方程式で表せる	
		6週 伝達関数について	ラプラス変換の意味を理解できる	
		7週 伝達関数について	伝達関数を導出できる	
		8週 後期中間試験		
	4thQ	9週 試験返却・解答 伝達関数の使い方	入力に対しての出力を計算できる	
		10週 極の位置と制御対象の性質について	極の位置と性質を理解している	
		11週 極の位置と制御対象の性質について	極の位置と性質を理解している	
		12週 極の位置と制御対象の性質について	極の位置と性質を理解している	
		13週 制御系の設計	制御器を設計できる	
		14週 制御系の設計	制御器を設計できる	
		15週 後期期末試験		
		16週 試験返却・解答		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

